

令和2年度の決算状況(水道事業)

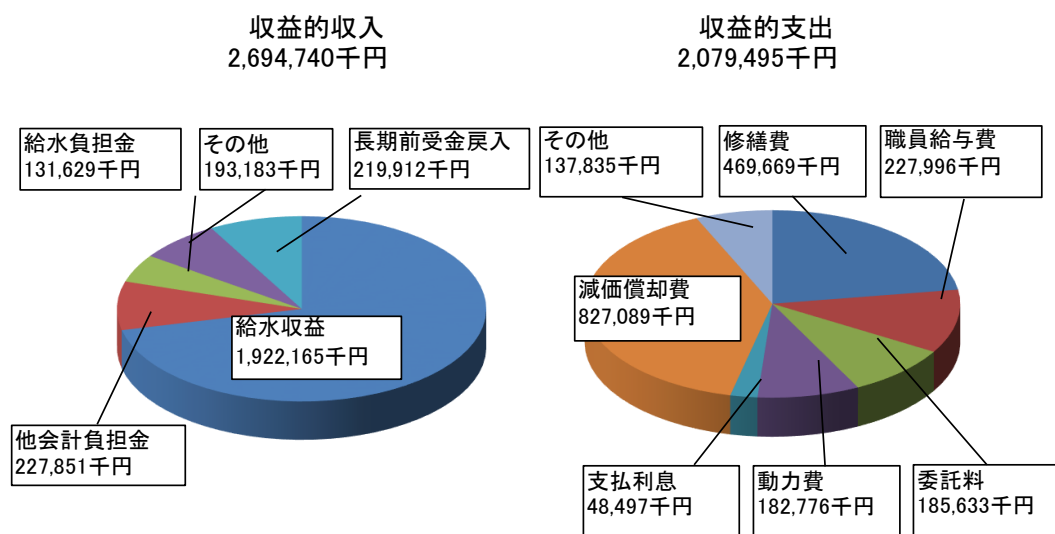
(1) 総括事項

水道事業の令和2年度収益的収支状況(消費税抜き)は、水道事業収益が26億9,474万円となり、令和元年度と比べ1,304万8千円の増加となりました。これは、給水収益、給水負担金などが減少しましたが、他会計補助金などが増加したことによるものです。

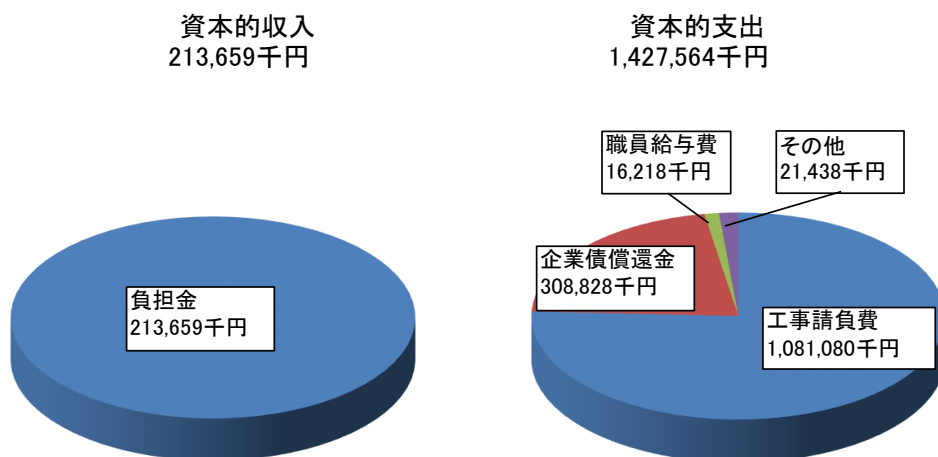
また、水道事業費用は20億7,949万5千円となり、令和元年度に比べ1億5,835万2千円の減少となりました。これは、修繕費や資産減耗費などが減少したことによるものです。

この結果、当年度純利益は6億1,524万5千円となりました。このうち処分可能な3億円は減債積立金に、9千万円は建設改良積立金として、翌年度の企業債償還金および建設改良事業の財源に充てることとしています。

(2) 収益的収入及び支出の内訳(消費税抜き)



(3) 資本的収入及び支出の内訳(消費税込み)



資本的収支不足額の12億1,390万5千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額8,091万2千円、減債積立金2億1,000万円、過年度分損益勘定留保資金9億2,299万3千円で補てんしました。

令和2年度の決算状況(下水道事業)

(1) 総括事項

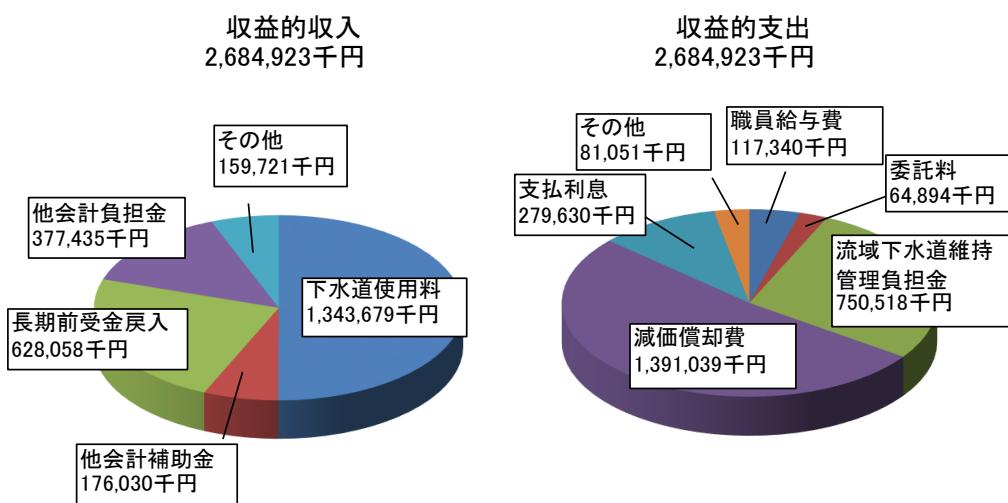
下水道事業は、今年度より地方公営企業法を適用し、併せて、快適な市民生活に必要不可欠な下水道事業を将来にわたって安定的に運営できるよう、「各務原市下水道事業経営戦略」を策定しました。この戦略に基づき、下水道施設を適切に維持管理し、未普及解消や長寿命化、幹線管渠の耐震化を着実に実施していきます。

令和2年度の汚水管渠建設改良事業では、上戸処理分区第1工区管渠埋設工事などの未普及解消事業を着実に実施するとともに、翠沼処理分区管渠布設替及び更生工事、岩地幹線外1マンホール管口耐震化工事などの長寿命化・耐震化事業も計画的に行いました。さらに、避難所環境充実のため、一次避難所となっている那加第一小学校・鵜沼第二小学校にマンホールトイレを整備しました。また、雨水管渠建設事業については、伊吹第二雨水幹線築造工事などの幹線整備のほか、蘇原中学校貯留施設整備工事などの雨水流出抑制のための整備も実施しました。

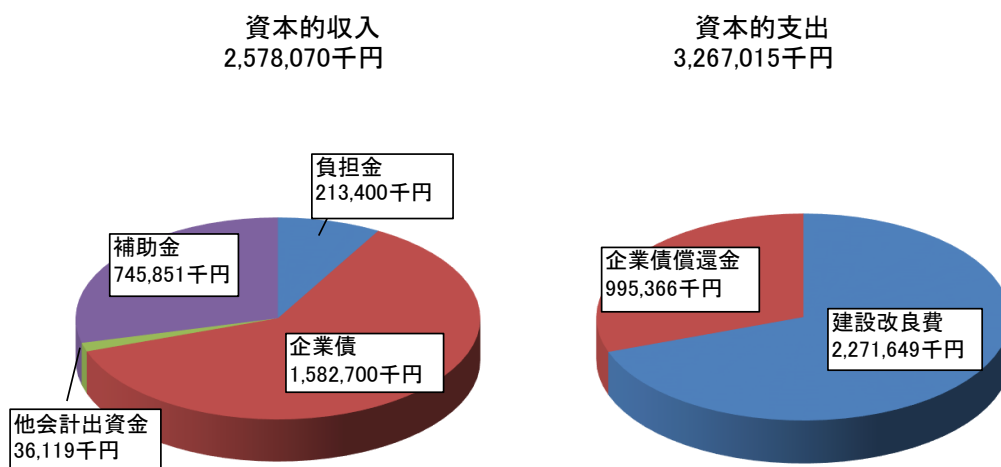
公営企業移行後初年度の収益的収支状況(消費税抜き)については、下水道事業収益が26億8,492万3千円、下水道事業費用が26億8,492万3千円となりました。

この結果、当年度純損益はありません。

(2) 収益的収入及び支出の内訳(消費税抜き)



(3) 資本的収入及び支出の内訳(消費税込み)



資本的収入額(翌年に繰り越しされる支出の財源に充当する3,183万6千円を除く)が資本的支出額に対して不足する額7億2,078万1千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額1億793万5千円、繰越工事資金4,407万2千円、当年度分損益勘定留保資金5億6,877万4千円で補てんしました。